

平井川流域連絡会（第8期 前期）第2回全体会議事録(案)

日時：平成26年7月29日（水） 午後7時～午後9時

場所：あきる野ルピア3階 ルピア集会室（和室）

委員出席者（敬称略）：

座長

副座長

公募委員 8名

行政委員 5名

次第

1. 開会

2. 議題

- (1) 第8期の活動方針について
- (2) 平成25年度生物調査結果について
- (3) 次回の予定について
- (4) その他

3. 閉会

配布資料

1. 次第
2. 第8期委員名簿
3. 第1回全体会議事概要
4. グループワーク資料
5. グループワークでの活動方針資料
6. グループワーク原稿
7. 第8期活動方針（案）
8. 第8期前期活動カレンダー（案）
9. 平成25年度 平井川生物調査結果資料
10. 平成26年度 平井川生物調査予定位置図

1. 開会

○座長 それでは、こんばんは。時間ちょっと前ですが、ほぼお揃いのと

なりましたので、これから第2回の平井川流域連絡会の全体会を開催させていただきます。昨日、今日と少し和らいでいますが、お暑
い中、参会していただきましてありがとうございます。

それでは、次第に従って、本日の会を進めさせていただきます。
まずは、配布資料の確認をさせていただきます。

○事務局 西多摩建設事務所工務係長の●●です。それでは、今日お配りし
ている資料はたくさんありまして、まず1枚目が次第と書いてある
ものです。次に名簿がございます。その次に第1回全体会の議事概
要のホチキス止めがございます。その次にグループ1と書いてある
A4のホチキス止めですね、その次に活動方針と書いてあるもので
すね。手書きで1班と書いてあるA3判のペーパー、その次に第8
期活動方針(案)と書いてある1枚ペラですねA3の、その次第8
期前期活動カレンダー(案)というA3判の1枚。その次がちょっ
と厚めの資料ですけれども全域調査位置図と書いてあるカラーコ
ピーのA3の綴じたもの、最後にA4判の魚類・底生動物と書いて
ある資料でございます。以上ですが、過不足はございませんか。

2. 議題

(1) 第8期の活動方針について

○座長 そういうことで、今回から前回の議事概要を付けさせていただく
ことにしました。ただ時間も限られておりますので、恐れ入ります
がこれをお持ち帰りになって、お読みになってちょっと疑義がある
疑問があるということであれば、事務局のほうに後日でもご連絡い
ただければ、必要に応じて訂正させていただきますので、よろしく
お願いいたします。

それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。まず議題
の(1)第8期活動方針についてということで、これは6月24日
に行なわれました第1回の会議の中でみなさまの方からご意見
を出していただき、それについて事務局の方でどういう意見が出たの
かももう一度まとめております。そこらへんも含みまして、(1)の
第8期活動方針について、事務局の方からお願いします。

○事務局 それでは、私の方から説明いたします。まず、手書きで1班と書
いてある資料がありますが、個々には説明をいたしません。これを
めくっていただくと、みなさんに書いていただいた付箋をそのまま
コピーしたものを付けていますので、これが皆様からいただいた意
見そのものでございます。これは、特に抜いたりとかはしておりま

せんので、この資料はこういうものとして、見ていただきたいと思
います。その文章を打ちました。打ったのが、グループ1と書いて
あるホチキス止めのA4判の横の資料です。A、B、Cとか書いて
あります。前回はグループ1、2ということで2グループに分けて
討議していただいて、グループ1については、1枚目のA、B、C
という仕分けをしていますけれども、こう意見が出て、さらに分類
したものが、2枚目です。プログラムとか環境学習に仕分けして7
つぐらいのテーマに分類してもらいました。グループ2については、
仕分けはしていないのですが、こんな意見が出たということで、そ
のまま打ったものでございます。

それを、グループ1と2を合わせて整理し、A4縦に6つくらい
に分けたのが活動方針です。このテーマの文言はちょっと硬いかも
しれません。下の方には「あり方の検討」なんてことも書いてあり
ますが、ちょっと行政っぽいようになっていますけど、こんなふう
に一度分けたものがこれです。

それをもうちょっとかみ砕いてシンプルにしたのがA3判の第
8期活動方針(案)と書いてある左側に3つの枠が書いてある資料
です。さきほどのA4判で示した6つくらいあるテーマを3つに分
けてみました。まず「地域に活かした川」という目標。これは、前々
から平井川では地域に活かした川という目標を掲げておりますので、
どのようにしていくのが良いか考える、第1期の平井川の流域連絡
会のテーマとして継続して考えてきたことだと思いますが、途中で
ゾーニング計画なども決めました。「そういう計画も確認していっ
たらいいね」というご意見もいただきましたので、ゾーニング計画
の確認という項目も入れました。それから、今までやっている整備
工事との関連、その次が整備工事後の自然回復状況の確認、これは
今までもやってきていますし、今後も継続的にやっていくことだ
と思います。それから草刈りをどのようにしていけば良いかという意
見が出ましたので、これも項目にしました。これらが1つの枠で括
られています。

その次の枠が「平井川を深く知る、理解する」ということで、こ
れはですねどちらかというと流域連絡会の委員の得意分野をちょ
っと期待しているところがあるんですね、市民委員皆さんは多分ご
自分の得意分野を持っておられると思うので、ちょっとその辺で流
域内の生態系であるとか、意見が出ていました河川と田んぼの関係
ですとか、流域内の文化など得意分野をお話ししていただいたり、
現場で解説していただければ、深く知ったり、理解できるかなと思
って枠を作りました。

3つ目が「次世代へ繋ぐ」ということで、今まで大分活動を続けている「子どもの水辺」であるとか総合学習、教育機関とのコラボ、他の流域との交流、これは少し先の話になるかもしれませんが、次世代へ繋ぐというテーマで一括りにしております。

それを第8期の1年目、2年目とどんな風に進めていくか、成果というわけではないが、目標として持っていた方が市民委員も行政委員もいいのかと思っておりまして、2年目に向けて、1年目に準備したりして、少しこんなものができましたという枠組みにしております。もしかしたら「成果を求めるのか？」という意見もあるかもしれません。じゃあそれが、1番2番3番の方針を仮に決めたとすけれども、やることは相互に関連していることがあり、ちょっと矢印が行ったり来たりみたいなどころはあるかと思います。で、1年目に「地域に活かした」ということでどんなことをやるのかなということですが、現地確認をしたり、意見交換をしながら、それは継続的に2年目も現地確認や意見交換を行うわけです。それから草刈りの話しをしていけばですね、私も野川で今まで流域連絡会に携わってきたので、他流域での実践例を参考にするのも一つの手だと思います。一から始めると非常に悩みとかありまして、例えばアレチウリの駆除とか、それはいろんなところでみんなが悩んでいて、いろんな方法でやっていて成功例もあり、失敗例もあるとおもいますが、そういうものも参考にしてもいいかなと思います。それで、そういうところと意見交換をしてもらえれば良いかなと、他の流域とも流域連絡会との交流みたいな案も出ておりますので、こういうことも入れております。

それから、草刈りの話でいけば、エリアを決めて試験的に実践してみる案が出ておりましたので、1年目にこれを入れました。それを2年目にどうするかというと2年目に完全に草刈り方法の確立と実践と書いてありますけど、多分2年くらいじゃ結果も出ないと思うんですけども、ちょっと試行錯誤しながら、なんとなくこんな風にしていけば良いかなという方法を、これは目標ですので確立は多分難しいと思うんですが、一応目標を書いてあります。

それから、せっかくゾーニング計画があるのだから、そういうものも時点修正が必要ですよという意見も出ておりましたので、ゾーニング計画、河川整備も進んでおりますので、そういうところを維持管理にシフトしていくことも見据えて、ゾーニング計画を修正したり加筆したりということも必要かなと思って書いております。

2番目の枠「深く知る、理解する」ところで、やはり皆様から、現地を歩いて確認したいよねという意見が多く出ておりました。1

年目で現地を歩いて確認して、できれば委員の得意分野を解説していただければ、非常にありがたいかなと思っております。でそれを何に活かすかというところ2年目にゾーニング計画に活かしていったり、それから、2年目の下の方の枠に書いてある「平井川のマップを作成しましょう」という意見も結構出ていましたので、2年目にマップを作成するということに活かしていければと思っています。

で3番目の枠「次世代に繋ぐ」ということですが、やはり歴史もあるこどもの水辺への参加、どちらかというとバックアップというよりも「こどもの水辺」で学ばせてもらう方が当たっているのかもしれませんが、そういうものに参加し、1年目の後半のプログラムに準備が間に合えば、年度後半の行事を流連の共催などにするということで、12月の川掃除だとか2月のクズの根っこ掘りというものを募集とかまだできる期間もありますので、できればこういうものも共催していけばどうかなと思っています。1年目はそういうことで試行錯誤ですけども2年目は、流連主催のイベントを決めて計画的に実施していきたいと思っています。それから総合学習への参加というのも計画して実施するというのも書いています。それから、次世代へ繋ぐ青い枠の下から2つめの枠なんですけれども、おとといも残念な水難事故がありましたけれども西建管内はみんな遊べる環境にあるので、遊んでもらいたいですけれども、やっぱり水難事故が起きてしまうと非常に我々も辛いですし、なるべくそれが起きないようにしたいと思っているので、特に自然環境にあふれてみんな遊べるような西建の平井川もそうなんですけど、西建管内だからこそ、こういう水難事故の対策が必要だと前々から思っております。それから意見も出ている危険な生物など、河川利用に関する情報発信みたいなことも意見もございました。それで事務局の方からの提案なんですけど、こどもの水辺のPR看板であるとか水難事故の防止グッズ、この間もリーフレットはお配りしましたけれども、今ああいうリーフレットしかないんですけど、この間第1回で「こういう手拭いみたいなものもあるんですよ」とお話ししたと思いますが、これは津波編、防災グッズ編、地震編という防災手拭いというものがあるんですけど、ご存知の方は、いらっしゃいますか？いらっしゃらない。じゃあ話してよかったと思います。地震の防災フェアみたいなところで売ってまして、ちょっと可愛いキャラクターが防災グッズだったら、まあパンフレットに載っているものと内容的には一緒なんですけど、こういうものを書いてあることによって、まあ手拭いですからけがした時も使えますし、普通に持って

いても見ることができるので、紙よりは絶対にこっちの方が良いと思っています。これは525円で、3種類あったので全部買いました。これは爆発的に売れているようで、絶対こういうものが良いと思って、手拭いだったら川に持っていけるし、「川ガキ必携」って書いてみたんですけど、こういうものに水難事故を防止するようなものを分かりやすく書けば、そういう方が活用してもらえないかと、2番煎じですが、まだそういうものは作られていないので、ぜひ作りたいなと思っています。そういう案を作るので中身についてももらいたいなという、これは事務局からのお願いなんですけど、そういうもの作りたいなと思っています。一番最後の情報発信では、まだ1年目はマップの完成まではいかないと思うんですが、歩いて情報をとって、平井川マップの準備、題材集めを1年目にして、2年目に作成までもっていったらという希望でございます。全体的に何の矢印もついていませんけれども2年目の1番最後に「世代を超え、流域内はもちろん流域も超えた「平井川応援団」を増やす」ということも目標にしています。これから事務局案ですが、1年目「本当にこんなにいっぱいできるの？」みたいなことだと思いますが、2枚目の第8期の活動カレンダーを見てください。もう7月も終わりですので、8月から作ってみました。一番右側は参考として、点線の枠に書いてありますけれども、こどもの水辺の活動を書いてあります。昨日こどもの水辺の協議会に出席しまして、2月「クズの根っこ掘り」と書いてありますがこれは1月にやりますよということでした。それはまだ修正しておりませんので、1月にしてください。これまで説明しました3つの枠が1番上のところに書いてありますが、1つ目の枠がゾーニング計画の確認、整備工事との関連、流域内の生態系、河川と田んぼの関係、流域内の文化となっております。2番目が草刈り、3番目がこどもの水辺とか総合学習とのコラボというように分けています。それで8月から、色分けをしておりますがブルーで書いてあるものが、現場でやるものですね、基本的には1番左側の枠で9月、10月、12月、2月に川と流域歩きの第1回目、2回目、3回目、4回目と書いてあると思うんですが、「ちょっと、全体を歩いて見ないとね」という意見があったので、流域歩きは4回ぐらいかなと思って、適当に入れてあります。この流域歩きにしてもですね、じゃあ何をテーマに流域を歩いて、その後情報を集約するとか、テーマについて話し合うとか、まあそういうことでテーマと場所を決めなければいけないので、1回目、2回目適当に書きました1回目はゾーニングとか、文化、田んぼとか、2回目はこどもの水辺の行事日程と兼ねて、子どもと一緒に、その場

合は日曜日になるということを書いています。3回目、4回目については、まだ浮かばなかったもので、これも決めていかなければならなくて、それを決めるのを8月に座学で、赤字が今日みたいな夜の会合で、これも適当に4回としましたが、流域歩きの各回のテーマとルートを決めなきゃいけないというので8月は、決めなきゃいけないなと思いました。それと草刈りについては、試験エリアの選定だとか維持管理方法の検討ということもやらなければいけないので、8月にそういう検討もします。なぜかという、草刈りが他の野川の流連に聞いてみると9月10月ごろ刈っていると聞いてるので、そうすると大体このエリアでどのようにやりますかというのを決めないと9月10月ができないので、それを入れています。それから、こどもの水辺などとのコラボの話は、先ほど言いました12月のイベント川そうじ、それからクズの根っこ掘りを共同でやろうとすると、どのくらいの規模でやるかなどのイベント準備を8月ごろから始めなければいけないので、もし市報に出して、PRする広く集めるということになると、このころから準備しなければいけないので、12月イベント準備というなことを書いてあります。

また、1番左側の枠に戻りますと、川歩きを2回くらいして、そうすると情報も集まってくるので、ゾーニングだとか整備工事だとかまあ地図の検討、整備工事の話は定期的にやらなければならないので、そういうものを11月ころ、それから座学の時に草刈りをやってみて、その検討みたいな話。で11月のところを見てもらっていますが、そろそろこの時期になると2月じゃなくて1月のイベントの準備もしなければいけないなと。われわれの方から子どもの水辺のPR看板の案とか、先ほどのグッズみたいなものとかこういう案もそろそろ出来上がってくるので、これを提出して意見を聞きたいなということもあるので、平日の夜間の会合を。そうすると12月とか1月は緑で書いてありますけど日曜日ですね、共催行事になります。そんなようなことで書いてあります。3月今年度の最終は、全体会になります。そんなようなことで、案ですけれども作ってみました。これを基に第1回目もあまり人数が多いとあれなんで、グループに分けて意見をもらいましたので、これからちょっとグループ分けをして、先にちょっと質問をしてもらってもいいですか。

○座長 そうですね。

○事務局 じゃあ今、ばらばらっと説明しちゃいましたので、この中で「こ

れは何なんですか」という質問がありましたら、どうぞ。

○市民委員 草刈りの問題なんです。何を刈るかによって話が全然変わっちゃやう。もしオオブタクサを刈りたいのであれば、時期は10月では遅いです。正直言って8月か7月中に、要するに穂が出ちゃったら。

○事務局 種がバラ蒔かれるんですね。

○市民委員 その時期を考えると、もしオオブタクサということを決めていらっしやるならば、これでは遅いです。

○事務局 他にいかがでしょうか。これからまた、話し合いなので、その中でこれは絶対聞かなくちゃ、私はおりますので、その時は呼び止めていただければ全然構いませんので。じゃあグループワークの説明をしてもよろしいでしょうか。

○座長 草刈りの試験エリアは、どのように考えていますか。

○事務局 多分高水敷だと思います。高水敷で今、●●委員からご意見がでましたけど、草刈りって何を守る目標にして、どの外来種を刈りましようというようなことがあると思うんですが、その目標について、どういう方法でいつごろ何回やれば良いか、でそれも根こそぎやらなければいけないのか、もうちょっと簡単な方法があるのか。

○市民委員 えーとですね、単純に言ってですね、オオブタクサだとするなら、これは引っこ抜くのが1番楽なのですが、でも時期があって、ある程度太くなると引っこ抜けませんので切らなければならない、タイミングがあるので、今の段階ですと引っこ抜くのはきつくなっていますから、ですから切らなければいけないということになります。要するに草刈りの場合にじゃあ何を中心にして、何を浄化するかが決まらない限りは、先に進まないと思います。

○市民委員 草刈りに関しては、刈り方の前に多分皆さんが歩いて、どこの何を保全するのかということを決めないと、今まで従来通りの草刈りで良い場所があれば、もっとしなければいけない場所もあるかもしれないし、場所と草刈りの時期が相応しくないのも、だからエリアを決めなければと思います。エリアを決める時にも単に管理用通路だけではなくて、法面から低水敷あと釣りの関係で言えば水際まで

含めて、どうしていくのかを考えなければと思います。

○市民委員 僕は、平井川のことについては、あんまり知らないのですが、秋川に関して言うと、今大体オオブタクサだけに関して言いますと背丈は恐らく2m近くになりつつありますから、それを本当は刈るのが1番良いんです。で今やっちゃうとですね、あつという間にオオブタクサが無くなるんです。タイミング的には穂が出る前が1番ありがたいのですが、そうすると結構きついです。夏場だと。大変な労力が必要ですから、単純ではないということだけは、知っておいてください。ですからオオブタクサを刈るのであれば、来年のまだ小さくて引っこ抜ける時にやった方が良いよという話です。

○事務局 今、●●委員からエリアの話が出てきたんですけども、前回●●委員からご提案のあった「どんど焼き」だとか、河川利用に関しての草刈りと、相反するというのはおかしいですけど一方で「草を刈って欲しい」という要望があるわけです。どんど焼きにしても利用もありますし、それからこれからですね暑い時期になるとカが発生する。後は繁茂しちゃって今2mというお話も出ましたけれども、見通しが悪くなって防犯上悪いという意見が出たりしてきますので、近傍の方が「刈って欲しい」という要望が結構出てくるんです。その時に、でも利用とか防犯上みたいなことで、草っていうとどちらかというとあまり治水上、木と比べれば関係ないので、どちらかというと利用だとか近くで住んでいる人が散歩するとか、それから春になると「花粉症で刈ってくれ」という要望が非常に多くて、それも対応はしています。そういうものと「でも生きものもいるよね」ということで虫だからといって、害虫だけではないから、それを保全したいという意見もあったりして、それは相反するところがあるわけです。そういうものをどういう風に折り合いを付けていくかということでエリア分けというのは非常に大事だと思っています、今まさに1番最後のその他でご提案をしようかと思っていたのですが、そういう要望が平井川でも、「ここのエリアを刈ってくれ」という要望がいくつか出てきていて、そこについては、「どうしましょうか」みたいなことを流域連絡会で・・・、でも流域連絡会も何度も何度も開いているわけでは無いし、皆様に電話して聞くわけにもいかないんで、ここは保全したいというエリアを大体決めておいて、それでここの保全したエリアの所で草刈り要望が出てきた時には、ちょっと相談して現場に立ち会うということで、アレチ

ウリがあったり、それからヨシとかが生えている所があったりとかして、「ヨシは残しましょう」、「アレチウリはやっぱり刈った方が良いですね」と、そういう管理の仕方もあると思うので、エリアを決めて提案してもらった方が良いですねという意見はあります。

○市民委員　　今の話なんですけど、草刈りはこのところずっとやってきてるわけですよ。役所の方にも草刈りの委託も発注もしてるでしょうし、そういう今までのデータがあるので、新たに始めるのではなくて、過去のデータを把握してどこに問題があるのか検討する必要があると思います。もう大体出来上がっていると思うんです。草刈りももう何十年と毎年行ってきたわけですから、新たに全くまっさらなところからやるんじゃないくて、そこにどういう問題があったのか分析して、検討した方が良いと思います。

○事務局　　それはあれですね、あの委員の皆様からいろいろご意見をいただければですね・・・

○市民委員　　委員から意見を聞く前に、今まで草刈りやってきて問題のないところもあるだろうし、私は環境保全も必要なんだけど、できるだけ金をかけない、川じゅうの草を刈って、それを委託にかけて、税金を使うことはないと思う。保全すべきは保全して、ブタクサが生えてしまうのはしょうがないし、花粉症の話もあるんでしょうけれども、総合的に検討して最初から現場を見て、「こうやりましょう」、「ああやりましょう」といっても答えは出てこないだろうと思うんですけれども。基本的には、僕は草刈りなんてものは、必要最小限に努めるべきだと思うんですよ。そういうためのマップづくりなんかは良いと思うんですが・・・。

○市民委員　　今の現状を明らかにしてということですよ。

○事務局　　それは、案でつくっている8月に草刈りと維持管理方法の検討と書いてあるんですけども、マップのところに「ここは、もう定期的にやってますよね」みたいなことを委員の皆さんが書いていただければ・・・

○市民委員　　委員では分からない。委員だって全部を把握しているわけじゃないんで。だから聞き取り調査みたいなものやいろんなことをやって、実態調査を行う。

○市民委員 平井川に関しては、僕は知見がないんですが、秋川の場合は、個人でやられている方が結構いるんですよ。これはもう定期的にやられている方がいらっしゃるって、あるエリアで組み上げていますから、ですからちょうど雑草が非常に繁茂する梅雨時に刈られると決めている方がいらっしゃるんですね。おそらく平井川にもそういう奇特な方もいらっしゃるかもしれませんが、そういうようなことの情報流域の中から何とか掴めないんですかね。

○市民委員 平井川をあきる野に関しては、わたしがこの前歩いてきた感じで言うと、一斉清掃を5月の第2日曜日と11月の最終日曜日に自治会で草刈りをしている所があるのと、さらに頻繁にやってらっしゃる所が1か所あって、個人でやってらっしゃる方もいらっしゃるんですけども、その方はそんなに広い範囲ではなくって、水辺まで近づけるようなアクセスを確保していることを把握しています。

○市民委員 草が繁茂していて通りの方から車が来るのを1分か2分前に把握するように、町内で一斉清掃が2度あるんですけど、町内の納涼祭があるんで3回草を刈っている。一時西建で草を刈ってくれるという話もあったりして、例えば定期的に刈ってもらっていた町内会もある。うちでも刈ってもらおうかという話があったが、予算がないので、今年はやらないといわれ、うちは1回も刈ってもらわないで、自力で草刈りをやってきた。そういう状態で、なるべく変な草は取るようにして、きれいにして川に降りられるようにしているんですよ。そういう面で、ここで草刈りの提案をされたんだけど、流域連絡会の面々が鎌やいろんなものを持ってやるのかどうなのか、すごく疑問だった。「ここが危ないから刈れよ」と言うだけだったらだれでもできるけど、実際に日曜日なり土曜日になるかと思うんだけど、そういうのをやるのか。さきほどの話にもあったが、種がまかれる前に刈らないと効果が薄いんだよ。実際は。それで、イタドリでも太くなったら普通の草刈り鎌じゃ刈れない状態になるんですよ。そんなようなことで、若いうちだと簡単に刈れるんだけど、ということも考えながらやって、早いうちに刈るともう3度くらい刈らないときれいじゃないんです。そんなもんだから、定期的に刈るのは良いことは良いんだけど、そんなに西建だって経費があるわけじゃないんだから・・・

○事務局 どういうふうにやっていけば一番良いのか・・・

○市民委員　　えーと、また申し訳ないんですが平井川の話では無い。秋川の場合、僕の住んでいる地域のブタクサの除去を十数年かけて一人でやっています。だれも手伝ってもらわないで一人だけでやっている。で、一挙には無理です。ですから、少なくともエリアを少しづつ区切って、あるエリアだけは3年かけてほとんどなくなったが、それでも生えてくるわけですよ。そういうものをすこしづつ増やしてきて、おそらくこの10年間で今までひどかった所は、ほとんど無くなったし、ということがようやくだんだん見えるようになってきました。まだそれでも、すごい勢いでありますから、これを後10年くらい続けられるかどうかは別として、後数年やったら誰かがやってくれるだろうと思っているんです。実を言うと総力戦では意味がないんです。ですから、はっきり言ってタイミングを見ながらやっていくと効果的に無くなりますから、それが分かれば一人でもできるんです。経費をかける必要もないんです。そういう知恵を使うべきです。そういうようなことを十数年間やってきてようやく分かりました。以上です。

○事務局　　そういうことの他の流域の情報なんかもあるんで、研究していきませんかという提案です。それはだれがやるかとか、やってくれと言っていないので。●●委員からも意見がありましたけれども、科学的にこうしてやれば効率的にできるということもあるので、そういうことをちょっとやって見ませんかということで、試験エリアを決めるのは全部やるんじゃなくて、こういうやり方でやって見ると成功しそうだよというみたいな試験エリアということですよ。

○市民委員　　とりあえず8月の会議で、流域委員と西建の方で把握している、市や町の方でも把握している現状を出し合って、確認することから始める。

○市民委員　　平成十何年かな、流域連絡会でも、すでにそういう実験をやっているんですよ。河川改修工事に伴って虫屋の方と流域連絡会の市民と専門家の方を交えて、オオブタクサの芽生えの時に抜いて、それから種ができる前に抜くということを橋の上下流で実験をして、上流側がきれいになったという実績もあるので、初めてのことでない。

○市民委員　　極めて常識的な話です。

○行政委員 草刈りと直接じゃないんですけれども、地域の要望で最近多いのが平井川だけに限らないんですけれども河川区域内の高木もかなり古くなったりしているんで、倒れてしまえば安全管理上撤去するだけですが、倒れかかっている、今にも危ない樹木については切っ
て欲しいという要望が来る。うちの方の判断で切っても良いということであれば処理するんですけれど、中にはこの木は残したいということがあり、当然樹木医の診断とかあるわけなんですけど、草刈りのエリア検討をする際に樹木の古いやつに関しては検討をしていただければと思います。

○市民委員 場所は河川敷じゃないですよ。管理用通路ですよ。

○市民委員 それはどこの話ですか。平井川ですか。

○行政委員 平井川ですね。平井川でも上流で、かなり太い木が河川区域に生えている。

○市民委員 それはどの辺の話ですか。マップに落とせますか。

○行政委員 仙石橋から中里橋の間の右岸で、春日神社の反対側です。

○市民委員 仙石橋から中里橋までですと住宅が川に近接している所ですよ。

○市民委員 原則的には、河川には樹木を植えないとか生やさないとかいうのが治水上の関係では必要なんだよね。で、要するに良い木だから残して欲しいという地元の要望が無い限りは切っても差し支えないというような感じでしょうかね。

○事務局 あの最近ですね、川づくりの新しい方針からすれば、河積に余裕がある場合には、残しても構わないというような方針になってきているんですね。でもそれは、治水上問題がなければということですから。

○市民委員 今の話はおそらくですね、先ほどの話にもありましたけど、木の種類によって話が全然変わってきますから、何故かという根の張り方が弱い木と強い木によっては、倒れる確率が全然違いますので、

そういうことも踏まえて考えておかないとまずいなと思いますね。カシの木とかクルミの木ですか、クルミの木は特に倒れやすいですから、気を付けなければいけないというような話も含めて考えていかなければいけないと思いますね。だいたいそこは、土地の所有者は誰なんですかね。西建でしょうか。じゃあ西建の一存で何とでも出来るわけですね。分かりました。

○事務局　　最初ですね、グループ討議にしようと思ったんですが、どんどん意見が出てくるようであれば、特にグループ討議にする必要がなければ、ちょっともう具体的にこの内容について、今みたいな草刈りはまあだいたいそんなような第1回目は、●●委員から提案ございましたけど、8月にちょっとそのことで、情報を詰める作業をして、そして今後どうしていくかを検討するっていう感じで、1回目をするということ。

○市民委員　　よく分からないのは、何のための草刈りかということがはっきりしないんですけど。今いくつかの要件がありましたけど、その主な目的は何ですか。全然違うわけですよ。そうするとエリアを分ける時に、じゃあ今回はどういう目的に合う所をエリアにしようというようなことがまず最初に決まらなければいけませんよ。

○事務局　　どういう目的のために、ここは残すのかということですね。

○市民委員　　それは、はっきりさせておかなければだめだということです。

○市民委員　　今のカレンダーに8月からスケジュールが書いてあるが、連絡会は何回くらい開くんですか。

○事務局　　連絡会は、この赤で書いてある平日夜間と書いてある所ですね。8月11月・・・。

○市民委員　　8月なんかはね、もう夏休みなんだよね。それさあ流域連絡会とって子どもたちが楽しんでいるのに、無料奉仕だからボランティアだからね、それで8月にあれやれ、これやれと内容が多すぎるんだよ。だから多少さ、我々は年寄りだから夏バテ気味なんです。だからそうそうは、あれやれ、これやれってねえ、欲張ってマップ作りだ、小学生を巻き込んでどうのこうのだから内容が多すぎちゃうって思うんですよ。できるだけやっぱり今までも8月は多分休ん

でたと思うんですけど、夏の真っ盛りだと日射病になっちゃうよ。

○事務局 だから8月は、室内です。

○市民委員 室内だけど、出てくるのに大変よ。だからやっぱり余裕を見て、欲張るのは分かるんだけど、やっぱりね、肝心なところだけを協議して行って、何でもかんでも知恵を拝借してっていうのも、私はもうまいっちゃいますね。お手柔らかにお願いします。

○市民委員 欠席すればいいじゃないですか。

○事務局 メンバーの話もあるんですけども、仮に3つ決めさせていただきましたが、じゃあ3つの所にそれぞれ「私は草刈りをやります」、「私はこどもの水辺をやります」というふうに手を挙げてもらって、行政委員もおりますんで、それを3分割するという手もあると思いますね。これだけやりたい、後は市民委員もたくさんいないし、まあこれぐらいの人数なんであの自分の好きなテーマだけ出るということもありだと思うんで、全部出たい人は全部出ていただいても良いんで、そういうやり方もあると思います。前は、分科会みたいなことで、完全に分けていたときもありますし、また小委員会ということで、去年なんかもメンバーを決めないで、行って来たという経緯もありますので、必ずしも全部出るとか言うことはありません。確かに目いっぱいなのは確かなんですが、1月の1回なんて大丈夫かなと私も思いますので、ここからもうちょっと今年度は、今年については草刈りと3つもやっているけど2つにしましょうとか、後は分科会形式でちょっとコアメンバーだけでやりしょうみたいな、そういうやり方もあると思うんで、そこも複雑に絡んでいるんですよ。

○市民委員 さっき、8月に「いかだ」、「くも」ってあるんですけど、●●委員の方でいろいろやっていただいているんですよ。たぶんこれだって、相当時間と労力を使っているんじゃないかと、そういう少なくとも流域連絡会の活動の中に組み込むということは、大変だと思うんですよ。

○事務局 あのこれは、組み込んでいるということではなくて、参考です。

○市民委員 でも参考で入れちゃっているから、こどもの水辺の活動を。

○事務局 この中で、流域連絡会と一緒にできるような行事ということで、川そうじとクズの根っこ掘りをバックアップしたらどうかなという案です。人手が沢山必要なものということで、それはバックアップというか、我々も学びなんですよ。

○市民委員 こどもの水辺は、年間立派に活動されているわけで、これを巻き込んで一緒にというような感じを受けたもんだから。そこまでやってたら、とてもじゃないけど身がもたない。

○事務局 全部これを一緒にやるということでは、ありませんので年に2回くらいは良いかな、人手が必要なものということでセレクトさせてもらったつもりなんですけどね。それもこれ誰も来なかったということはない、少なくとも西建は行くと思うんですけど、これでやれば。市民委員が来なかったからダメということはありませんので、流域連絡会のメンバーだけではなくて、公募するとかということもありだと思いますし、流域連絡会が主催するので公募しますということもありだと思いますし、それからターゲットを絞って高校生に声を掛けるだとか、ボランティアクラブなんかをお願いする、昔もそういうことはやっていたこともあるんですね。高校生なんかに。

○市民委員 大学生なんかは。

○事務局 ああ大学生でも良いですね。ですから全部委員の肩に重く押し掛かっているということではありません。

○市民委員 ●●委員の言われることも分かるんですけど、僕は4期目から参加したのかなあ。そのころから、もっと楽しい活動にできないかという提案がされていたんですけど、で日の出町から若いお母さんなんかも参加した年があるんです。ところが、実際には工事のことで、ほとんど時間が取られちゃって、そういう活動が出来なかったんです。でその若いお母さんは、途中でやめちゃいましたけど、そういうことでこれくらいはやらないとそういう工事でのけんけんがくがくの議論を離れて、もう少しゆとりのある活動をしようと思ったら、月1回くらいは、やむ得ないのかなという感じがします。それと、ゾーニングを作った時、2期に渡りましたか、あの頃は月1回やっていましたよね。どうしても毎年工事をやるんで、それを巡っての議論が多くて、それ以外には活動が出来ないのが現状だと思う

んで、ちょっとやむ得ないかな思っています。

○市民委員　ただ公募の時に、公募の文章の中に確か年4回とあったと思うんですけど、事務局から提案があったように部会に分けて欲張って全部出たい人は出るし、どれかに絞る人は絞るという形にした方が無理しないで、休みたいときに休んで良いですよとすると全部を出たり出なかったりで話が見えなくなることもあるので、部会に区切れれば自分の部会は休みたくても休めないという選択肢をつくるのが良いと思います。

○事務局　他にご意見はありますか。

○市民委員　個人的な意見なんだけど、7期の時と同じように私自身は、御堂橋の所の取水堰がどうなるのかが一番心配なんで、こういう風に参加させてもらっている。そんなもんで、実際平井川を利用して川を遊びをやったりいろいろしてたり、川を利用してもらっていたんだけれども、今平成25年から30年くらいの間の私にとっては一番重要な期間じゃないかなと思っているので、手を上げさせてもらっているんですよ。で、実際尊い税金をガンガンあそこにつぎ込むんじゃないくて、やっぱり良いものを、子どもたちから何から川で遊べるようなことができないのかなという気持ちで参加させてもらっています。だからマップづくりとかはちょっと、あるいは方向が違うのかなあという気分ではいるんです。草刈りについても、さっきいったんだけど同じ所を年3回やっているんだよね。草を刈らないと見えないから整備したりなんかやっているんで、西建さんに頼んでも金がないからやらないという話が何年か前に出たものだから、ということで、個人的な要望が東京都に届くかなということで参加させてもらっているわけで、こういう川をどういう風にしようという方向も良いことなんだけれども、そこまで年12回も出てどうなのかなということと昼間も6回くらいになるのかな、実際1回か2回は皆で流域を回って、ここの所は危ないねとかここの所はこうした方が良いねというのは必要かな、ここの所はいつも草を刈ってもらってるねとか町内会が一生懸命やっているねとか西建がやっているんだよとか、そういうところもずっとね、例えば〇〇橋だっけ、プールの廻りは西建が刈っているんだよね。ということも知らない人もいっぱいいるでしょう。西建が草を刈っていることを知らない人もいるんでしょ。いないかな。工事やった場所なんかは西建が刈っているんだよね。それで、全然なにもやってない所は刈ってない

ということだから、そういうところも確認しながら、どうしてもプールの所は都で刈らなきゃ、市で刈らなきゃってなっちゃうからどこかの税金を使うんなら良いんだと思うんですよ。そういうのも、皆で見ながら、その変わりあそこのプールの所から川に降りられないような草が生えている状態なのよ。上はきれいななのよ。だけど河川には代田橋下はさっと入れるんだけど、あの辺は入れないとかね、皆で1回見れば、川に入る通路だけは刈っているよとかなんとか、いうのも出ると思うんで、見るのも良いと思うけど、これほどいっぱいあってどうなのかな、見ないと発言も出来ないと思うんですよ。そうでもない。8月にやろうという……。8月は、夜間の会合ではあるけど、実際に見ないことには室内で話できないでしょう。

○事務局 見て知っている所の話をして、それを確認して現場に行くというのが、その方が集中して「じゃあこのエリアを見に行きましょうか」ということで、作戦が立てられますよね。情報を集めておいた方が。

○市民委員 今何をやっているかという話なんですけど、これは活動カレンダーの案ですからこれをちゃんとしたものにするという策定ですかね。

○事務局 そうです。

○市民委員 そうすると、議事の運営が非常に悪いということですね。

○事務局 すいません。皆さんから意見が沢山出ているので……

○市民委員 もともとこれは案なわけですから、一つずつこれで良いのかとどうかということ、まずければ修正するのは何なのかということを決めていかないと、後1時間以内で決まりませんよ。

○事務局 分かりました。それではまず3つの案の所ですね。1年目2年目と書いてあるこっちのペーパーで1番左側に書いてある3つのテーマで、良いか悪いかということですね。

○市民委員 私は1番下の所までは、出来ないと思うので、削除してもらいたい。

○事務局 やりたいという方がいれば、良いということですか。

- 市民委員 まあできればね。
- 市民委員 どこから始めるのですか。決めるのは。
- 事務局 1枚目の3つの枠があるペーパーの1番左の3つの方針です。今意見がでたのは、1番下はいらんんじゃないかということですが、だれかやる人がいれば良いですよということ。
- 市民委員 そういう問題ですか、これ。そういう問題で考えるんですか。
- 事務局 いや、今意見が出ていたので。
- 市民委員 これは要するに、この案というのはあくまでも事務局の案なわけですから、これに対してもむという形ですね。やり方はそれでいいんですよ。
- 事務局 他にご意見ございますか。
- 市民委員 そこをやりたいという人がやれば良いというのであれば・・・
- 事務局 分科会という方法もあるので、絶対こればダメというふうには・・・
- 市民委員 できたら大筋ね、大きな方向で行った方が・・・。今までの意見を聞いていると大きすぎる。縮小案もあると思うし、そこでは簡単に結論は出さない。
- 市民委員 私はせっかくなので、全部やりたいなと思いますね。全部を完璧にやらなくても、手がかりを作るだけでも次の第9期につながるの、それをやりださない限りは進まないわけで、欲張って成果が出なくても、とりあえず例えばこどもの水辺で言えばぜひ流域連会と一緒にできたら良いなと思いますので、とりあえず参加できる方が参加していただくだけでも良いので、何らかの形でやっぱり3つともやったらいいんじゃないかなと思います。それと分科会みたいに分けて参加するというので、3つ目は、だれも参加しなかったというのであればしかたがないんですけども、まあやる人がいれば。

○市民委員　でもね3つ目ね、例えばここで活動方針を出して、これが決定されれば市の広報で共催事業ということで出せることは出せるんだよね。こういう肩書も使わせてもらえるということがあるから、参加者も一般に募った方が増えるということで、だからいいんじゃないですか。

○市民委員　私は、前回出席できなかったんですが、一つだけ教育関係とのコラボというのが入っているんですが、もう一つ挙げてまして、挙げたかな記憶が定かじゃないんですが、私がこの会に所属している意味は、実を言うと平井川をホタル川にしたいという思いがありまして、かつてホタルの保全分科会がありまして、私が今から10年前に心筋梗塞で倒れてしまったわけで、それから立ち消えになったことがありました。その時にもうホタルの保全分科会はいらないんじゃないかという話もあったような気もするんですが、僕はこれから実を言うと、平井川は東京都の中でも希少なゲンジボタルの生息地になり得るだろうと思ってまして、実を言うと平井川はカワニナの生息域で言うと下流部から上流部までほとんど生息していますんで、どこでもホタルが飛ぶという状況にはなりつつある。で秋川と違って、極めて人が入りやすい川ですので、ホタルを鑑賞することに対して非常に有効である。こういう川がおそらく東京都にはほとんど無いだろうと思います。でそういう川が少なくとも西建の管理下にあるわけですから、ここを何とか活かしたいという風に思っまして、実をいうと復活をお願いしたい。どのような内容にするかは、これから決めていくわけで、とりあえずはそのようにお願いしたい。

○事務局　他にご意見ございますか。メンバーの話もあると思いますが、一応この3つの柱で行きたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。それでは、1年目、2年目のカレンダーですが、2年目の成果まで求めるかどうかというのはペンディングでよろしいでしょうかね。高い目標を揚げてしまいましたので、ここまでは難しいという意見もでています。で、そうするとちょっと1年目の活動ということで、2枚目のペーパーですね、活動のカレンダーについて1年目にどのくらいまでできるでしょうかということと、あとは分科会形式にするのかどうなのかということも含めて、例えば、今一つ出ているのは分科会に分けたらどうでしょうかという意見がでて、3つの分科会のうち「私は第2、第3分科会への参加をします」とか・・・

○市民委員 それは一番最初の3つのものを分科会にするという案ですよ。分科会にするならばどういうテーマの分科会にするかという案を出していただかないと決まりませんね。

○事務局 やっぱり分けちゃった方が良いという感じですかね。それぞれの分科会に・・・

○市民委員 要は、最初の案がそうなっているからね。明らかにそういう意図が見えるから。

○事務局 意図はないです。全部にかかると大変だなという意見が出てきていたので、「私はこれに専念したいです」と手を挙げてもらっても良いと思っています。

○市民委員 大きな意味で、要するに今の話だとこの一番最初のこの3つの枠ですよ。これを一つずつの分科会のテーマとして、分科会を作るというのが今の案ですね。そう考えて良いですか。

○事務局 事務局案は、あんまり分けなくて、今回このテーマで次回はやりますという小委員会形式で、去年と同じように、次回はこういうテーマでやりますよという時に、テーマに参加したい人は出てくる・・・

○市民委員 僕は、その案に賛成ですね。僕はどっちかというところと全部出たいと思っています。時間が許す限り、だから大変な方は、例えば8月のは出ようと、11月はないとか、自分で選んでいけばいいんじゃないかなと思います。

○市民委員 ただ、このカレンダーで出る出ないじゃなくて、休んでもつなげて自分が参加できる形にしておかないとまずいので、そういう意味で分科会というのもあると思う。ただし、分科会テーマを・・・

○市民委員 要するに分科会の意味合いが明確じゃないですよ。まず、●●さんの言われた分科会はどういう形式でどういうテーマなのかということです。

○事務局 最初のこの3つのテーマの分科会のようなものです。

○市民委員　　そうですね。僕もそういうふう理解してました。そうすると●●委員の言っている分科会の意味合いは、全然違うと思います

○市民委員　　いえ、全然違わなくて、同じなんですけれども、ただこっちの方、左を見たときに「次世代に繋ぐ」これは、一つにまとまりそうですが、1番目と2番目をこういうふうに分けちゃって良いのかなと思いました。

○市民委員　　そうすると、分科会の作り方ね。

○市民委員　　だから、従来通りというか、ここ数年ずっとやってきた工事に対しての色々な話し合いがまず柱にありますよね。それから地域とか、次世代を巻き込んだいろんな行事とか、あとマップづくりもそれに入ると思うんですけど、外に向けて平井川流域連絡会をアピールしていくような活動、それから工事とは関係ないんだけど草刈り、維持管理のことですよね、その3つかなと思ったんですけど。

○座長　　●●委員からの色々意見がありましたけど、3つとも分科会にするというのは、どうなのか。1つコアがあって・・・

○市民委員　　いや、違いますよ。●●さんが作られた案を先ほど確認しただけです。でも、そうすると当然、●●委員の意見も出てくるわけで、分科会というものの意味合いを僕もあまり理解していませんから、分科会というものは今までどうだったのか、今後どういう形にした方が良いのかということがないと、所属することもなかなか難しいと思うんですよね。少なくとも分科会とはこういうものだよということをお皆さんによく分かるようにしていかないと、それに入れるか入れないか分からないじゃないかという話になると思うから、それを明確にしておかなければならない。

○市民委員　　分科会としない方が良いでしょうかね。「来月の流連のテーマはこれがテーマです。次の流連のテーマはこれです」というようにテーマだけ掲げて、負担の多い方はこのテーマだけ参加しようというように、分科会という全部入ると欲張りみたいだし・・・、

○市民委員　　分科会の意味合いが最初の段階の話があいまいだったから、要するに次の時にはこういうテーマで1回だけやりますよという話な

のか、あるいは年間を通してやるのか、この辺が全然分からなかったの、そうすると年間ずっとこのテーマでやるのはやだよという人は、当然出てくるわけで、次回だけだったら良いよという人も出てくるわけです。年間通じてあっても良い分科会は当然あるわけで、それは分けなければいけない。少なくとも種類を分けなくてはならない。こういうことからじゃないですか。整理すると。これは決まらないと思いますよ。

○座長 前回1回目で、フリーに第8期にどういうことをやりたいかということを一っぱい出していただいたわけですね。想像してた通り、一っぱい意見が出て、ある程度事務局の方でこういうカテゴリー、大きく3つに分けて、カテゴリーの中にもいろいろ盛り込まれているわけで、1つのカテゴリーでも全部その中身が出来るのかと言われてれば、確かに量的にも非常に多いし・・・、だから今日提示したのは、前回いろいろ今期の委員の方々がやりたいというマックスをとりまとめて分類して、ちょっと盛りだくさん過ぎるような案で、毎月こんなことをやっていったらどうか、その中でこれは多すぎるんじゃないとか、そういったものを照査して行って活動方針を決めていこうと考えてこういったものを作ったんですけど、たぶん今日は決まらないと思う・・・

○事務局 そうすると、第3回の全体会をまた8月開催しなければならなくなっていますので、ある程度方針を今日決めたいが・・・

○市民委員 そうすると、こういうことになるんですよ。まず、さっき言った2種類。年間通すものと、名前を分けないといかんわけで、とりあえず分けていただいて、年間通すやつは何かか会、で単発のやつは何かか会というふうにさせていただいて、で単発のやつはどのようなテーマで考えられるかというような形で、とりあえず整理するしかないんじゃないですか。でその中で、自分としてはどのようなものに所属したいよということで、それが決まれば大体OKなんじゃないですか。

○事務局 今の感じで行けば、年間通してやらなきゃいけないのは、結構話題になった草刈りの話、維持管理を含めた草刈りと整備工事だとか1番最初の平井川全体をどうしてゆくかという今までのテーマ、これは年間を通して定期的に行っていかなければいけないこと。

- 市民委員　　これは、2年間通すんでしょ。
- 事務局　　そうです。それは多分委員の方も出なきゃいけないなと思っておられることじゃないかなと思っております。それは、良いですか。定期的に行っても。
- 市民委員　　僕、出ません。
- 事務局　　それは全然構わないと思います。それは年間通じてどのくらいの頻度で・・・、2か月に1回ぐらいですかね。
- 市民委員　　去年は、2か月に1回くらいでしたっけ。
- 座長　　全体会とか、見学会とかいろいろ名前は変えましたけど、だいたい年間6回は開催しています。
- 事務局　　それは全然構わないと思います。それは年間通じてどのくらいの頻度で・・・、2か月？それでは、年間を通じて行うものは2か月に1回開催する。そして単発のものでは、1番右側のこどもの水辺とのイベント準備だとか、うちから提案することだとかコラボとか、それは単発でやらせてもらえば良いかなと思っています。いかがでしょうか。それは、あまり参加したくないなという方は、参加しなくても良いかなと思います。
- 市民委員　　1年目は、それでやるしかないんじゃないですか。
- 行政委員　　年間通じてやるものとして整備工事の話は出てこないんですか。
- 事務局　　いえ、整備工事は1番の草刈りとか維持管理、整備工事の話はずっと出ています。今2か月に1回やろうかというお話をしていたんです。
- 行政委員　　今回については、議題にも載ってないですし・・・
- 事務局　　議題はこれから出てきます。生物調査の結果についてということで、整備工事については前回お話をしていますので、6月の第1回目の時に今年度の整備工事についてはお話をしているので、今日は、25年度の生物調査の結果についてお話をすることになっています。

- 行政委員 それが、整備工事の話しになるわけですか。
- 事務局 議題はこれから出てきます。生物調査の結果についてということで、整備工事についてももちろん（ですが）、整備工事の前後の生物調査の話も入っていますので・・・
- 行政委員 26年度に対してのことでしょうか。
- 事務局 どういうことでしょうか。
- 行政委員 第1回の全体会の議事概要の議題のところ6番目に平成26年度予定、生物調査予定についてということで、これが整備工事とそれに関連する生物調査の話しですね。今日の議題については、この後に生物調査の報告と・・・
- 事務局 今後どういうふうにそれを保全していくかという工事の内容にも関わる内容になっています。
- 行政委員 これが議題の（2）生物調査結果についてのことですね。
- 事務局 そうです。
- 行政委員 分かりました。
- 事務局 それでは、あまり時間がないので、今のをまとめますと、年間通じてやる維持管理を含めた工事に関することを2か月に1回のペースでやっていく、それは皆様に何月に何をやりますというお知らせをするので、参加したい方は参加してください。単発ものとして、さきほどお話したこどもの水辺のイベントの話だとか、教育機関とのコラボだとかPRの話だとかは、単発でまた別個に会を設けて、お知らせをしますので、その時参加していただける方については、参加していただくというイベントカレンダーの構成でよろしいでしょうか。
- それでは、まず8月は難しいということでしょうか、それとも草刈りとか8月に何かやらなきゃいけないのではないのかなと思っていますが、そのテーマだけ、もし「やる」、「やらない」、9月に延ばすだとか、次回のことだけを決めたいと思います。

- 市民委員　それだったら、草刈りという問題がありならば、年間できちんとした決め方をしないと何もできないんじゃないですかね。
- 事務局　　ちょっとこのカレンダーをもう一回、今言いましたように書き直して、お知らせを・・・
- 座長　　8月に集まるかどうかということでしょ。草刈りの話しだと●●委員の話しだと、ある種に着目すると今でも手遅れ・・・
- 市民委員　手遅れでなく、やる気になればできるのですが、どういうやり方をするのか、草刈りという意味合いがエリアによっては様々違ってくるということになってくると、どこはどういうふうに草刈りを行っている、ここは行われていない、ということの全体像が見えないと先に進めない状況ですよ。
- 座長　　そうすると、現状の確認と課題の抽出になるわけですね。
- 市民委員　8月はするべきかどうかですが、8月はするべきです。先に進めませんよ。これが決まらないと。9月になったら遅れちゃいますよ。ものによっては。
- 事務局　　ですから、暑い中大変だとは思いますが、ちょっと日程を調整させていただいて、8月には、今言いました草刈りの現状の確認とか、そういうテーマでやりたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。
- 市民委員　それは、単発の部会でしょ。
- 事務局　　いえ、これは維持管理の方です。
- 市民委員　単発にすれば良いと思いますよ。草刈りとイベントに分けて。そのようにしないと年間同じような調子でやっていくと参加者がいなくなりますよ。
- 事務局　　そうすると8月は2回ということになりますか。
- 市民委員　1回でやっちゃうんですよ。だって実を言うと内容がはっきりす

れば決めることって大したことないんですよ。

○事務局　でも、イベントの方には参加したくないという方もいらっしゃるかもしれません。

○市民委員　イベントというのは、草刈りのイベントですか。

○事務局　じゃなくて、12月の話しです。

○市民委員　それは夜の会合でしょ。

○事務局　どちらも夜です。

○市民委員　だったら1回にしたらいいいじゃないですか。

○事務局　これじゃ今回は、合同という感じですか。8月にやりますけど合同でもよろしいですか。草刈りのエリアの情報集めとイベント準備について半分ずつくらいになりますけど。

○市民委員　草刈りのやっている情報集めといっても、どこでやっているか大きなところは分かりますよ。個人でやっているところは誰がやっているかまで分からない。

○事務局　ですから、そこは今知っている情報だけで良いんです。もし、出席出来なくて、「情報だけは、これ知っているよ」ということでありましたら、出席は出来ないけど情報は私の方に・・・

○市民委員　出席するかしないかじゃなくて、情報の集め方がということ。

○事務局　じゃあ、他にどういう情報の集め方がありますか。

○市民委員　それが難しいところ。団体でやっているところは分かりますよね。

○事務局　そこから始めていけば良いかなと思います。

○市民委員　瀬戸岡の辺でも個人でやっているらしいんですけど、誰がやってくれているかは分からないわけです。それを調べるのを我々が調べるわけですか。

○事務局 そんなことは言っていません。知っている情報だけ、教えてくださいと言っているわけで、みんなで調べていけるのであれば、調べて個人を特定する必要もないというのであれば、誰かわからないけれども、年間通じてやってくれているみたいだねということが分かるだけでも良いと思うんです。

○市民委員 この情報は地図を広げて書き入れるようにすれば良いと思う。植生図も用意していただいて、例えばここはどこどこが使っているとか、ここは子どもがアクセスで川に降りていくとか、ここは降りたいんだけど降りられないなど、それぞれ情報を書き込んでいくと、なんとなく今後の草刈りの仕方が見えてくると思うんで、そういう作業をするということで良いですか。12月のイベント準備ですが、無理して8月にやらなくても多分間に合うんじゃないかなと思います。12月の行事を市報に出すのは、11月の広報に出すとしても、あきる野市は10月10日までですね。日の出町は2か月前ですので、多分8月にやらなくても間に合うと思いますので、すっきりと草刈りをテーマにやっていただいて良いんじゃないでしょうか。

○事務局 そんな感じで、8月は1回やらせていただいてよろしいでしょうか。

○市民委員 草刈りだけを検討するということですか。これの具体的な内容を調べるために町会長にアンケートを取るとかするともっと実態が分かってくる。我々だけでは、なかなか分からないところをゆっくり調べていけばいいのかなと思っています。

○事務局 それで良いと思います。どういうふうに情報を集めていくかも含んでいます。

○市民委員 草刈りだけじゃなくて、地域で平井川でどういう活動をしているか、どういうふうに思っているかまで調べれば、この会の全体の大きなものが出てくるかなと思います。

○市民委員 あと、西建さんの方で毎年行っている草刈りの実績を教えてください。

○事務局 そうすると8月も後ろの方がよろしいですね。

○市民委員 今の話しだとオオブタクサを考えなくて良いというのであれば、草刈りの話しは無しにしても構わないと思います。

○事務局 まだ、次年度も続きますから。次年度をどうやるかという準備でも良いと思うんです。

○市民委員 オオブタクサばかり意識していませんか。実を言うと。

○事務局 今年間に合わなくても、来年こうしようという作戦を立てるのも良いと思うんで。じゃあよろしいですか、8月の後ろの方に、お知らせをいたしますのでよろしくお願いします。では、カレンダーなども整理して次回の8月の終わりごろの会には、提示をしたいと思っています。

(2) 平成 25 年度生物調査結果について

○座長 それでは議題（2）の平成 25 年度生物調査結果について説明をお願いします。

○事務局 本来であれば、前回の会で生物調査 25 年度のご報告ということで、お話するところだったんですけど、間に合わなかったということで、今回遅ればせながら 25 年度の生物調査の報告をさせていただきますと思います。

A 3 判のこちらの資料と A 4 判のこちらの資料、2 つの資料で説明させていただきますと思います。資料について付け加えたいことがあります。調査の箇所等も入っておりますので、昨年度も「取扱い注意」を入れさせていただいていたんですが、本年度も取扱い注意ということで、お願いしたいと思っています。

まず A 3 判の方から説明させていただきます。1 枚目の方が全体地図ということで、初めての方もいらっしゃるということで、前回も説明の方はさせていただいたんですけども、全域調査と事前事後調査ということで大きく分けて調査の方をしております。全域調査ということで、多摩川の合流部、下流圏ですね、下から祝橋までの区間を全体調査ということで、事前事後の調査でも行っているんですけども、河川調査、植物それと魚類、底生生物、小動物、昆虫といった種類の調査をですね 5 年おきのサイクルで実施しています。こちらについては、25 年度は河川調査を実施していますので、このあとご報告いたします。それとあと、事前事後調査とし

て、日の出橋から代田橋までこちらの方は今事業を実施しているところなんですけれども、そういったところについて、事業を実施した後の事前事後についてどのような変化があるかというところを確認できるように調査を毎年実施しています。毎年1か所については、ご報告の方をさせていただいておりますけれども、そういった形で調査の方を実施させていただいております。調査の方は以上のような方法で実施させていただいております。1枚めくっていただいて、こちらの方で25年度の調査内容について説明させていただきます。まずは、先ほどご説明をさせていただいた全域調査ということで、25年度については、河川環境調査と植物について調査していますので、まず河川環境の方、20年度と比較して分かるようになっております。左の方が20年度ですね。右の方が25年度です。比較の内容についてご説明させていただきながらご報告をさせていただきます。20年度と25年度の河川環境については、早瀬の方が32か所から52か所ということで、増加が見られたということです。これらはその年の水量によって変動することが考えられるので、一概に変化が大きくあったと言えないところなんですけど、調査の方では一応こういう結果が出ました。次が横断構造物ですね。堰とか床止といった施設について変化があったかを全域で調査しました。結果、20年度と同数という形で変化が見られませんでした。そういったところを調査しながら、湧水の方を調査しています。こちらについては、左の方にそれぞれ番号を振らせていただいて、調査それぞれの箇所については、その年の湧水の量とか状況によってちょっと変わりますので、ちょっと数が違うところがあるんですけど、番号のところと同位置で湧水が確認された所について、こちらの方、番号を統一させていただいて、こちらの表をまとめさせていただきます。そういったことで、20年度に湧水が確認された所で、確認できなかったというのが8番です。それ以外の所については、湧水自体は一応確認できました。量的には大きく変化はしていなかったようなんですけど、電気伝導度とかそういったところで多少低めの数値が出ていたようです。

次のページ、一つめくっていただいて、湧水調査ということで湧水の所で調査をおこなったものと、その近くの本川、平井川本川ですね、そちらのほうで同様に電気伝導度、水温といったところの調査をしております。内容としては、電気伝導度といったところも同様の内容で出てきているようです。電気伝導度は数値が大きい方が電気を伝えることが大きくて、水がきれいだというようなことが・・・

○事務局 汚いでしょ。伝導度が大きい方が汚い。

○事務局 失礼しました。勘違いしていました。今回そういったことで低い値が出てきているということなんで、きれいだということで結果は出てきているようなんですけど、ただこちらの方も一概に水量とか他の要素も含んでいることがあるので、今回大きく数字が動いていることではないので、ほぼ変化はなかったんじゃないかということで、聞いております。

○市民委員 ちょっといいですか。これはいつ測定されたのですか。

○事務局 電気伝導度こちらをやったのは、詳細な時期は持ってきてないので分からないのですが・・・

○市民委員 結局ですね、同じ時期、要するに 20 年度と 25 年度が同じ時期であるかということです。

○事務局 時期的には、同じ時期で実施しております。

○市民委員 大体いつごろだかわかりますか。

○事務局 調査時期は早い時期だということは覚えているんですが、たしか 7 月とかですね。引き続いて、次が植物相調査になります。今回それぞれ種類数、生活型、帰化・逸出、重要種ということでそれぞれ分けてこの表をつけさせていただいております。上の左側からそれぞれこういったまとめ方になっています。種類数としては 578 種から 425 種へ今回結果としては、減少しているということで、こちらについては河川環境が安定して 1 年草など植物がかなり減少してきたからではないかなということで、まあ環境自体が安定したことも考えられるという結果に一応なっていて、外来種がそういったことも含めまして出現率は 21% と減少してたという結果も見られています。重要種については前回の調査で 3 種確認されていたんですが、確認されない種のトキホコリがあり今回は 2 種類だけ確認されました。以上です。

次のページに行きまして、植物群落調査ということで、それぞれ下流部、中流部、上流部といったところですね、群落の下にカラーで事前事後調査のあれなんですけど、一応全域調査このような調査

を行いまして、その場所について、どのような群落があったかを確認してやってきました。下流部から中流部にかけては水際に植生する植物、あとオギといった植物、植物は同様な状況が見られたということで、今回植物には大きな変化はなかった、上流・中流部では変化は見られなかったという調査結果が出ています。ただ下流部で一番水の影響を受けるので、一部変化が見られたということは聞いております。全域調査としては、以上のような形になっております。

引き続きまして、事前事後、事後調査になるんですけど、瀬戸岡御堂橋の23年度の実施した調査結果の方を、こちらについては23年度工事着手前の状況と着手後の24年度と工事後どのように植生が変化してきたかということで、まとめさせていただいています。24年度の時期にはかなり自然な地が目立つところがあったんですけども、現状としては大分植生の方も回復してきている、ツルヨシ群落とかそういったものについても、工事の方で植えさせていただいたものも大分見られてきているじゃないかという結果が見られています。

1枚めくっていただくと、今度は定点観測ということで、瀬戸岡御堂橋下流の写真をつけさせていただいておりますけれども、一番左の部分が瀬戸岡御堂橋から左岸側から右岸側を対岸に向かって撮った状況です。23年度が工事着手前、かなり木が生えていた時期なんですけど、24年度の工事実施後には、かなり裸地が見られる、これに対して現状では大分草類が生えてきている状況が確認できるかと思えます。同様に真ん中、瀬戸岡御堂橋から下流側、一番下流側の代田橋から上流を見た写真になっております。写真としては、そんなような形です。

次のページにいきまして、次がベルトトランセクトという手法を使った調査方法なんですけども、それぞれ横断に切りまして、水際とかそういった位置、どこの位置にどのような植物群落が生えているかを表したものになっています。ラインのEとFという形でそれぞれつけまして、上から23年度24年度25年度というような形で表しております。植生としては真ん中工事着手後から前後でそれぞれ植生も変わってきた状況、回復してきている状況が見られると思えます。

次ページをめくっていただきまして、次が魚類・底生生物ですね、事前事後調査、全域で調べたものになりますが、23年度については、かなりギンブナ、フナあとハヤといったものが、25年度の調査では8種が確認されなかったということで、25年度に新たに確

認された種はカマツカ、ヨシノボリといった2種が確認されたということで、種の変化はあったようなんですが、こちらについては比較的緩やかな流れを好むような魚類、それとあと砂地や礫底を好むような種類というのもそれぞれ分かれたところもあるようで、流速やそういった性質に何らかの変化があった可能性は考えられるんじゃないかということでまとめています。同様に底生生物についても、真ん中の方になるんですけども、流水性の種の個体が増加しているような状況で、それがオナガやコオニヤンマといった種類なんですけど、そういったところの変化がやはり底生生物についても一部見られるということで調査結果になっております。こうした結果についても一番下の所に評価していただいております。

次のページいきまして、次が事前調査結果として、26年度に観音橋のところの調査を、観音橋のところの事業を予定しているんですけども、そちらの事前調査ということで、調査内容を検討しております。こちらについて、まず植物、現状工事前にどんな状況かというのを確認しておくために行っています。結果としては絶滅危惧種的な植物の植生は、特に確認されませんでした。ただ重要種のオニグルミ、ツルヨシ、オギ、カヤツリグサの群落が確認されました。その他にも要注意種が確認されました。工事をやるにあたって、保全対策としては、ツルヨシ、こちらの方は毎年工事の方でも実施の方をさせていただいておりますが、表土の採取ですね、そういったことの保管とかも、こういったことをこちらの区域についても植生の復元を図れるように考慮していきます。あとオニグルミの保全ということで、確認された所があるので、何らかの対策ができるように、工事に支障のない範囲で保全を行っていければということで、検討しております。

次のページにいただきまして、同様に観音橋の所の事前調査ということで、魚類、底生生物、小動物といったところの調査を行っております。魚類についてはシマドジョウ、ギバチ、オイカワ、アブラハヤのような主要なものが確認されています。底生生物については、先ほど確認されていた同様の種が確認されています。主要な小動物としても、こちらの区域のところではカヤネズミは、今回確認されませんでした。環境負荷の少ない工事の実施ということで、工事実施にあたって、水替えといったことも今回も実施する予定にしておりますので、工事施工にあたり移植を行えるところについては行い保全をするというようなことを考えていきたいと思っています。25年度の調査結果としては、以上の内容になっております。

引き続き、もう一つの方の説明もさせていただきます。もう一

つの方はですね、前回 26 年度の生物調査のやり方についてということで、一部●●委員の方からもご質問を受けていて、回答の方がまだだったと思います。今回、こちらの方で説明させていただきます。今回魚類、底生生物について調査箇所としては 2 枚に渡ってしまうんですけども、先ほどご説明させていただいた事前事後区間の中で 5 か所、○のついている箇所を実施の方を予定しております。前回お話の中で、平井川自体で工事实施前後という形で実施する箇所だけで調査をするのではなく、工事实施していない所で、どのように平井川自体が変化しているかということも含めて調査できる箇所をとということだったので、今上流側の所なんですけど 2 か所、観音橋の所と日の出橋の所、日の出橋の所はまだ事業としては、この後先だったので、こちら日の出橋の下流の所で調査をやるかと考えていたんですけども、事業認可区域としては日の出橋までとなっておりますので、こちらの箇所を日の出橋の上流に移しまして、継続的な調査が行える所をふくめた形で、調査の方を実施したいと考えております。こちらは今、下流側になっているんですけど、実施としては上流の方に移させていただくということで、今回ご説明の方をさせていただきました。

○座長 昨年度の生物調査の報告、それから今年度の魚類、底生動物の調査予定箇所について説明させていただきました。何かご質問はありますか。

○市民委員 湧水測定結果の所で、計測不可というのが今回目立つんですけど、これは湧水の出方が減っているのかなと気になったので、もし分かれば・・・、他の浸出量は少くないんで、この計測不可というのはどう考えたら良いのか分かれば、解説していただきたいというのが 1 点目です。それから 2 点目ですけど小動物の調査で観音橋上下流でカヤネズミが確認されていないということですが、多分調査されたときはいなかったんじゃないかなと思うんですけど、一応「川原で遊ぼう会」の調査では昨年の秋にこの区域で確認されています。

○市民委員 調査はいつしたんですか。

○事務局 調査自体は 25 年の夏過ぎに実施しています。

○市民委員 もう 1 点は、オギについて表土を取っておいて、埋め戻すということをやっただけということですが、2 年にわたる工事なの

で、保管の問題がないのかなという質問をした覚えがあるんですけども、それはどうなったでしょうか。

○事務局 工事の方としては、今年度26年度については、観音橋の上下流2か年の工事と瀬戸岡御堂橋下流側の今事後調査として説明させていただいた対岸の2か所を予定しています。瀬戸岡御堂橋の対岸については1年の工事になりますので、同様に実施するという事で、観音橋の方についても、今表土を一部搬出して同様に置けるように考えています。他については、種子の話なので、チガヤマットのメーカーだとか専門家に確認をしている最中なんですけれども、シートを掛けるとかの対策は聞いているんですけども、もう一度確認して・・・

○市民委員 シートを掛けるということですけど、春になると芽生えてきちゃうので、それをどうするのが一番良いのかということですね。

○事務局 シート掛けて暗くしておくということを聞いているんですけど、具体的にブルーシート程度で良いのかを含めて、もう1回よく確認するようにします。

○市民委員 もう1点なんですけれど、魚類の比較調査の場所を日の出橋の下流ということだったんですけど、ここは放流する場所ですよ。

○事務局 そういったところを踏まえて、今回日の出橋の下流の所を上流側に移して調査の方を実施するという事です。

○市民委員 ごめんなさい。私が聞き間違えていました。

○事務局 ちょっと説明が悪かったかもしれませんが、こちらの上流側の方で放流の影響のない所で考えています。

○市民委員 湧水について、浸出量の所で単位の確認なんですけど、文字が違いますが単位はセコンド・パー・リットルですよ。

○事務局 そうです。同じ単位です。

○市民委員 だとするならば、左の20年度に関しては、0.07とか0.06まで測定されているんですけど、25年度の場合については、リットル以

上ですね。だから単位系が違ってますよね。ですから測定の器具自体が違っているんじゃないですか。どういう測定をされているんですか。計測方法がどうなっているか一つ疑問になってしまいますね。20年度と同じ計測方法だと計測不可だったのかどうかということですね。

○事務局 調査方法については、手元に資料がないもので・・・

○市民委員 それは確認していただけますか。それからもう一つですが、水温と電気伝導度の問題なんですけど、これはおそらく湧水の場合は、降雨があった場合とそうじゃない場合で、大分変わるはずなんです。それも含めて調査しないと、ほとんど意味がなくなっちゃうんで、その辺のところも少し考えていただきたいと思います。

○事務局 そういった、ちょっと変化的な話は調査屋の方からも聞いているんですけども、前回の調査で詳細なところも無かったこともあって・・・

○市民委員 それから、大体の何月何日ということは入れておいていただくとありがたいですね。そうすると履歴が取れますから、よろしく願います。

○事務局 この資料はまとめなんで、記録は残ってはいるんですけど・・・

○座長 それでは、今お答えできなかったことは、次回までに回答します。

○事務局 先ほど、●●委員から聞いた件も合わせてという形で、よろしいですか。

○市民委員 瀬戸岡御堂橋の下流右岸のハリエンジュを伐採しましたよね。法面とそれから天端近い所に大分ハリエンジュが生えてきているのですよ。

○事務局 工事が終わった所ですか。

○市民委員 それで、まだ法面や低水敷の所は、小さくて僕でも切れるんですけど、切っちゃっていいんですかね。

- 事務局 まだ、現地を確認していないもので・・・
- 市民委員 手鋸で簡単に切れるぐらいの、まだ大きさです。天端あたりは結構大きくなっていますね。
- 事務局 それでは、1回現地を確認して、検討するという事によろしいですか。
- 市民委員 ちょっと関連しているんですが、去年の工事なのでまだ事後調査には上がっていないんですけど、瀬戸岡御堂橋の上流右岸の低水敷がオオブタクサ群落なので、そこだけは、なんとか手当をしていただけないでしょうか。
- 事務局 一部残した所にまだオオブタクサが大分残っていたので、去年の工事、低水路のところですよ。できるだけ手をつけない形でやらせていただいたんですけど・・・
- 市民委員 そこはまあオギが残って、オオブタクサもちょっと生えているんですけども、もうちょっと上流の方、チガヤマツを敷いた所の下です。あそこが何も表土を取っておくようなことをしなかったため、皆で抜くにも多すぎるオオブタクサだけなので・・・
- 事務局 それでは、先ほどのお話と合わせてご返事させていただきます。
- 座長 それでは、時間がきてしまいましたので、今日お答えできなかったことは、次回にお答えするようにします。
- 事務局 この間、委員の方からリーフレットがほしいということで、平井川のリーフレット用意してございますので、お持ち帰りください。それから前回もご案内しましたが「こどもの水辺」のカレンダーまだお持ち帰りになっていない方は、こちらにございます。
- 座長 それでは、これで第2回目の平井川流域連絡会を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

以上